

平成28年度地区懇談会 懇談概要 【妙楽寺区】

開催日：平成28年5月15日(日) 10:00～11:40

場 所：妙楽寺区民センター

○懇談概要

番号	項目	内 容	町長の回答	備 考
妙楽寺1	小学校の再編について	睦沢小学校となった時の通学方法は、スクールバスで往復するのか。	子供たちの運動不足に配慮し、上市場の歩道整備等も考慮した上で、スクールバスの便を増やしていく。	
妙楽寺2		土睦小学校に瑞沢小学校の児童が通う事になるので、吸収合併にならないか。学校名も土睦小学校になるという噂を聞いている。	吸収合併ではなく、両校を閉校して新たに睦沢町立睦沢小学校となる。	
妙楽寺3	瑞沢小学校の跡地利用について	瑞沢小学校の跡地はどのように考えているのか。	社会福祉協議会や公民館、図書館を移設する構想がある。また、外国人の農業研修生の宿舎としての利用も検討していく。	
妙楽寺4		瑞沢小学校の跡地利用について、先の回答は決定事項か。瑞沢3区の住民でワークショップを開催し、検討していく余地があるのか。	瑞沢小学校は瑞沢地区の中心地でありコミュニティの集中する場所なので、跡地利用については瑞沢3区の住民でワークショップが開催できるよう検討していきたい。	
妙楽寺5		教育のレベルが上がっているのに、塾にすぐ行ける環境として都会を選ぶ人もいると思う。瑞沢小学校の跡地利用として、塾を誘致できないか。	瑞沢小学校は校舎や体育館、特別教室があり、色々な使用方法が想定できる。塾誘致の案も含めワークショップの中で決めていければと思う。まずは、ワークショップが開催できるように検討していきたい。	
妙楽寺6		瑞沢小学校の跡地利用について、地域住民からは様々な意見がある中で小学校の統合まであと2年しかない。意見を出せる場を早急に用意しなければならないと思う。	ワークショップは住民だけの話し合いではなく、専門家を招聘してその地域に合った方策を考えていく。まずは、ワークショップが開催できるように検討していきたい。また、新しい小学校には過去の歴史を検証できるものを用意して、後世に残していきたいと思う。	

番号	項目	内容	町長の回答	備考
妙楽寺7	新しい学校について	中学校再編の際は下之郷あたりを予定していたようだが、財政などの事情により、結局違う場所になってしまった。約束は基本的な事なので、風化する事がないようにしてもらいたい。	新しく建設する学校は小中一貫型になるか、小中一貫校になるかわからない。また、その場所も決まっていない。皆さんと協議しながら決めていく。	
妙楽寺8		統合が決まったのならば、新しい学校の位置をどこにするかを同時に考えなければならないのではないかと。	財政計画と公共施設の長寿命化計画との兼ね合いを検討し、子供たちにとって一番良い方法を考え、場所等についても早い段階で計画していきたい。	
妙楽寺9	スマートウェルネスタウンについて	温浴施設では天然ガスを使用した発電施設となるようだが、ガスを採取するために井戸を掘るのか。	ガスは長南ガスを使用する予定で、現在協議中である。また、温泉成分のある灌水を㈱合同資源産業から引き込む。	
妙楽寺10		民間の温浴施設でもそれほどお客さんが入っているように思えない。最終的に町が責任を負う事になるこの施設は大丈夫なのか。	一般公募を行い民間事業者の提案の中から選ぶので、温浴施設になるか、足湯になるかはわからない。リスク負担については、商業的な部分は民間事業者が責任を負い、自然災害などの部分は町が責任を負う事になる。	
妙楽寺11	自治体PPS事業について	倒産した会社もあると聞かすが、リスクがないか心配である。	倒産した会社は高額な資金を費やしていたため、資金繰りに窮していたようだ。事業全体の出資額は900万円であり、そのうち町は500万円を出資する。	
妙楽寺12	バイオマス発電について	バイオマス発電は一町ではできないと思うが、近隣の市町村と協力して雑木林を利用した産業として考えられないか。	町内の森林の量だけでは採算が合わない状況である。以前、市原市からバイオマス発電事業について話があったが、進展していない。	
妙楽寺13	災害対策について	大地震が起きた際の防災対策はどうなっているのか。	東日本大震災を受けて災害対策の見直しを行った。災害が発生した際は人命をどのように守るかが重要であり、早急に復興できる体制をつくりたい。	